

＜総計欄＞3月の仕入量は167,372トン前月比-0.5%、前年同月比-13.6%、販売量は167,057トン前月比+0.1%、前年同月比-7.7%。仕入は微減、販売は微増、前年同月比では、仕入量は著減し、販売量は減少しました。在庫量は226,495トン前月比+0.1%、前年同月比-11.9%、在庫は前月比微増、前年同月比著減しました。在庫率は135.6ポイントと下降しました。

2019年度第4四半期の販売量は496,592トン。前期比-9.3%、前年同期比-7.8%と減少しました。2019年度の販売量は2,141,476トン。前年度比-8.3%と減少しました。我々流通販売業者の取扱量が年々減少していることが感じられます。

3月の販売も前月と変わらず低調のまま販売量が伸びませんでした。新型コロナウイルスの影響で先行き不透明感は払拭できず、市況のジリ安感は継続しています。

＜販売欄＞品種別では異形棒鋼4.0%増加、東京10.4%著増、大阪4.3%減少、愛知は10.2%著減しています。H形鋼は5.5%減少、東京10.1%著増、大阪2.1%減少、愛知27.6%著増となっています。その他品種では山形鋼0.9%微減、溝形鋼1.4%増加、コラム5.0%増加、C形鋼2.1%増加しています。なお、愛知については調査対象企業が3社減のため全品種、販売量が前月比著減しています。

＜在庫欄＞品種別では異形棒鋼6.0%減少、東京9.5%減少、大阪2.2%増加、愛知4.4%減少しています。H形鋼は1.9%増加、東京1.2%減少、大阪5.1%増加、愛知0.5%微減しています。その他品種は山形鋼1.4%減少、溝形鋼1.2%増加、コラム3.0%減少、C形鋼2.2%増加となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

■ 販売量 □ 在庫量 ● 三品種市況

